

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
「わたしの生活は、私が創ります」 ―自主性、責任感、正義感を高めます―	
① 全教職員が学校運営に主体的に参加し、日々の教育活動に充実感と喜びをもって取り組み、活気あふれる学校づくりを推進します。	
② 児童が自己肯定感・所属意識をもち、仲間と認め合い、高め合う学校づくりを推進します。	
③ 家庭・地域・関係機関と連携し、明るく信頼される学校づくりを推進します。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		規範意識や相手を思いやる心、正義を尊ぶ心と態度、人権を尊重する心と態度を育成と共に、子どもの自尊感情を育て、自分を大切にする心を育てる。	① 子どもの実態をもとに、「私たちの道徳」などの教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。 指針1 「道徳科」の充実 ② 幼保小中での交流活動や校内での定期的な異学年交流などの異年齢活動を充実させる。 指針2 体験学習の充実
担当	人権福祉部 道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

素直で人なつこく、決められたことに一生懸命に取り組むことができる一方、社会規範意識が低く、自己本位の言動が目立ったり、自己肯定感の低い児童がいたりする。また、自分からあいさつをしたり、コミュニケーションをとったりするのにやや消極的な傾向にある。道徳的価値は理解しているが、生活の中で行動に表せないことも多い。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳科」の充実

- ・全学級の授業を家庭・地域に年1回公開し、話し合いの機会を設けて、意識の啓発を図るとともに連携して子どもを育むようにする。
- ・道徳教育について、学校掲示板、学校だより、学年だより等にて家庭や地域に発信し、家庭や地域の理解や協力を得る。
- ・「わたしたちの道徳」のより効果的な活用の仕方を、授業実践を通して改善していくようにする。

【視点1】

指針2 体験活動の充実

- ・幼保小中での交流活動や校内での定期的な異学年交流を通して、多様な体験活動を経験したり、自己を見つめたりすることで、集団や社会の一員であることを実感しながら自尊感情や自己肯定感を高める。

【視点3】